



林業技術センターの活動内容について

林業技術センター 林技術支援部

の検討を行います。
 行政施策の推進等に対応した技術支援として、1課題を関係課等と連携して実施します。内容は表-1のとおりです。

②行政支援(調査)事業等

行政施策の推進等に対応した技術支援として、1課題を関係課等と連携して実施します。内容は表-1のとおりです。

はじめに
 林業技術センターが所属している広島県立総合技術研究所では、広島県全体の持続的な経済発展に貢献することを使命として、「総合技術研究所中期事業計画」(平成29年4月)に基づき、県内の中小企業や農林水産業者の既存製品の改良や新規製品の開発、ならびに生産性の向上を支援する研究と技術支援を行っています。

また、林業技術センターでは、研究所の中期事業計画とともに、農林水産局が取り組む「2020広島県農林水産業チャレンジプラン・アクションプログラム」(平成26年11月策定)とも連携して、課題の解決に向けた研究業務を推進しています。

それでは、今年度の取り組みを紹介します。

I 研究開発

①試験研究課題

ア 基盤研究

○「早生樹種コウヨウザンの効率的な増殖・育成・利用方法の開発」
 この研究は、行政支援課題である新規早生樹種コウヨウザンの育苗技術の開発を進める他に、成本分の詳細調査や森林再生方法の検討ならびに材質性能評価など、将来の技術支援に不可欠な新技術の獲得や、林業技術センターが強みを持つ技術の高度化のための技術開発を進めます。

イ 共同研究

○「再組立した木橋の経時変化に関する研究」
 この研究は平成22年度から継続しているもので、再組立した木橋について荷重および変形を引き続き測定するとともに、全体的な変化の調査により経時的変化・変状

③受託研究・競争的研究資金

ア 受託研究

県内外の事業者等との共同研究において事業者等からの委託を受けた研究に取り組みます。4月当初では1課題の受託研究が決定しています。なお、平成28年度は、県内外の事業者等から9課題を実施

○「伐採木材の高度利用技術の開発異級構成CLT(直交集成板)の面曲げ及び層内せん断強度、剛性、ひずみ等に関するデータを収集し、実大强度性能を評価する方法を検討します。

○「西南日本に適した木材強度の高い新たな造林用樹種・系統の選定及び改良指針の策定」
 ヨウザンを、西南日本に適した新たな造林用樹種・系統に選定して改良指針を策定するため、試作した製材品の強度等の性能評価を行います。

○「ICT技術やロボット技術を活用した高度木材生産機械の開発」
 木材伐採時にハーベスター等の林业機械上で伐採木(長尺材)の品

表-1 行政支援(調査)事業等

事業名	目的	平成29年度事業概要
特定鳥獣保護管理計画事業(自然環境課)(島根県・山口県との共同研究)	特定鳥獣計画に係る鳥獣の生息数の推定を行う。	ツキノワグマの恒常的な餌内での植物の着花結実状況調査等を行う。

しました。
 新たに開発された薬剤について、マツノザイセンチュウに対する防除効果及び薬害発生の有無を調査研究します。

イ 競争的研究資金

研究課題の公募型制度による競争的研究資金を活用して、次の4

課題について他の研究機関・企業と連携した研究に取り組みます。

○「林業用薬剤試験」(受託)
 研究課題の公募型制度による競争的研究資金を活用して、次の4課題について他の研究機関・企業と連携した研究に取り組みます。

○「伐採木材の高度利用技術の開発異級構成CLT(直交集成板)の面曲げ及び層内せん断強度、剛性、ひずみ等に関するデータを収集し、実大强度性能を評価する方法を検討します。

○「西南日本に適した木材強度の高い新たな造林用樹種・系統の選定及び改良指針の策定」
 ヨウザンを、西南日本に適した新たな造林用樹種・系統に選定して改良指針を策定するため、試作した製材品の強度等の性能評価を行います。

○「ICT技術やロボット技術を活用した高度木材生産機械の開発」
 木材伐採時にハーベスター等の林业機械上で伐採木(長尺材)の品

【林業技術センターホームページ】<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/33/1219628260277.html>



平成28年度 研究成果發表会の様子

WonderForest ~冒險の森~



宿泊研修施設「もみのき荘」

- 自然観察
- 林業体験
- 環境学習
- キャンプ
- オートキャンプ場
- 多目的グラウンド
- サイクリング
- 体育館など

県立もみのき森林公园

広島県廿日市市吉和1593-75
 TEL 0829(77)2011
 URL <http://www.mominoki.or.jp>



ボランティア活動

Ⅱ 技術支援の概要

④ その他の研究

前述の他に、新たな課題解決研究の提案や技術支援のための探索研究を実施します。

質をヤング係数で判定できるように、弹性波及び密度の測定方法を開発します。

○「CLT建築物等普及促進委託事業(CLTの性能データ収集・分析)」

CLTを本格的に普及して需要の一層の拡大を目指すことを第一に、林野庁と国土交通省によって新しいロードマップが策定され、関係省庁が連携して政府一体となつた取組みが新しく始まりました。広島県でも、国の動きに連動して研究を進めていく予定です。

詳しくは、内閣官房のホームページをご覧ください。

林業技術センターでは、県内外の森林・林業・木材産業に関連する企業・団体に対する技術支援として、次の項目について有料で実施しています。

研究成果發表会について

平成28年度の研究成果發表会は2月3日に開催して、京都大学フューリード科学教育研究センターの准教授長谷川尚

おわりに

当センターでは、研究開発や技術支援の成果を皆さんに広く活用していただけるよう、知的財産の権利化並びに関係機関と連携しての早期の技術移転に努めます。また、研究成果發表会の開催、各種印刷物、ホームページ掲載などを通じて情報提供を行います。

今後とも、当センターの業務の推進にご支援とご協力をお願いいたします。